

### 鹿屋 申良 全九州選抜 ソフト大会で優勝



4月7日、第18回全九州小学生選抜男・女ソフトボール大会で優勝した肝属女子ソフトボールチームが、市役所を表敬訪問しました。

大会では、初戦で佐賀、準決勝で大分、決勝で長崎と対戦し、見事優勝に輝きました。橋野監督は「混合チームなので練習できる時間は少ないがチームワークの勝利」と喜びを報告しました。

### 鹿屋 KANOYA カヌーの栢木兄弟 ジュニア日本代表入り

4月3日、平成20年度カヌーフラットウォーターレーシングジュニア日本代表に選ばれた横山町出身で県立高校3年の栢木駿さんと翔さんが、市役所を表敬訪問しました。

2人は双子の兄弟で、3月に開催された海外派遣選手選考会を兼ねた大会でペアを組み、カナディアンペア500mと1,000mの2種目で優勝し、代表に選ばれました。

ジュニア日本代表は1990年から93年生まれまでが対象で、代表は6人。2人は、5月23日からスロバキアで開催される国際大会に出場予定です。

西園副市長は、「国際大会でも全力を尽くしてください。将来は、鹿屋体育大学でオリンピックを目指してほしい」と激励。2人は「全力を尽くし、世界大会に挑戦します」と決意を話してくれました。



### 鹿屋 輝北 申良 42頭が元気に入牧



4月23日、市鳴之尾牧場で入牧式が行われ、生後6か月から12か月令の子牛42頭が緑豊かな牧草地に放牧されました。

鳴之尾牧場は、昭和41年の開設以来、約2,500頭の子牛を育成してきました。

標高約480m～550mにあり総面積70.9haの同牧場に放たれた子牛は、起伏に富んだ傾斜地で足腰が鍛えられ、自家育成牛に比べ乳量や出産回数が増え、耐用年数も1年以上長くなります。

放牧期間は1年～1年半ほどで、受精卵移植や人工授精で受胎後、分娩の2～3ヶ月前に各酪農家に里帰りします。

### 鹿屋 KANOYA “かのや食の駅づくり”事業 「かのや黒豚カレー」が販売開始



4月18日、リナシティかのやで「かのや黒豚カレー」の販売開始セレモニーが行われました。

「かのや黒豚カレー」は、市内の飲食店等が地元食材と独自のアイデアを生かし、安全・安心な「食」の提供と「食」による地域おこしのために販売するご当地グルメです。当日、行われた試食会では用意されたカレーが市民の皆さんに振る舞われ、美味しく食べていました。

【販売店】①AQU庵 ②鹿屋市観光物産総合センター ③かのやの郷くまそ庵 ④志満八 ⑤たこつぼラーメン ⑥ばらの花束 ⑦ホテル大蔵 ⑧MOZET ⑨RoseDiner

### 吾平 AIRA 市内唯一のマンゴー農園で 収穫始まる



4月10日、吾平町上名の角野観光農園（同管理組合）で、マンゴーの収穫が始まりました。

同農園は、市内で唯一のマンゴー農園で、ハウス内は、マンゴー独特の甘い香りが立ちこめています。高さ約1.5mの木が18aに198本定植され、1本の木に約50個の果実がなり、農協を通じて出荷の最中。

園内では、1kg3,000円で直売も行っているほか、7月中旬からは、落花生やさつまいもの収穫も楽しめます。同農園は、県立大隅広域公園内のオートキャンプ場の手前にあります。

問い合わせは、吾平総合支所産業振興課まで。

### 鹿屋 KANOYA 事故防止の願いを込めて 交通標識の定規を寄贈



4月4日、県トラック協会鹿屋支部の中村支部長と同協会大隅地区研修センターの橋本事務局長が市役所を訪れ、交通標識入りの定規1,200本を寄贈しました。

これは、新入学児童に交通標識を覚えてもらい事故防止に役立ててもらおうと、毎年県下全域の新1年生を対象に行っているもので、「児童に配布して、事故防止に役立ててほしい」と話していました。

### 鹿屋 KANOYA 高齢者のためにと 踏み台寄贈



4月10日、鹿屋市建具木工組合が、建具の日（4月10日）に合わせて、木製の踏み台50台を市に寄贈しました。

これは、足腰の弱い高齢者に、段差がある場所などでの転倒防止などに役立ててもらおうと毎年行われているもの。踏み台は、同組合員が自前の木材を使って仕上げたもので、後日、訪問看護師等を通じて高齢者に贈られました。

### 輝北 KIKOKU 農業公社研修生の 修了式と受入式を開催



4月2日、財団法人輝北町農業公社が実施している研修事業の修了式と受入式が開催されました。

式には、2年間のスプレー菊栽培の研修を終え輝北地区で新規に就農する第7期研修生3人と、これから新たにスプレー菊栽培の研修を受ける第8期研修生3人が出席。「早く技術をマスターして、一人前の農家になりたい」と抱負を話していました。